

「放課後等デイサービス研修(中高生向け)」

開催要項

1. テーマ

子どものまなざしで実践をとらえなおそう

—思春期青年期のしょうがいとある子どもへの共感的理解を大切にしよう—

2. 講師

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 木全 和巳 氏

<プロフィール>

愛知教育大学大学院を修了後、名古屋市職員に。社会福祉学博士。社会福祉士。

児童養護施設保育士、知的障害児施設指導員、情緒障害児短期治療施設セラピストを経験。

日本福祉大学の教員になり、23年目。専門分野は障害児者の福祉。

著書『安心して豊かに暮らせる地域をつくる』(『しょうがい』と『セクシュアリティ』の相談と支援)など。

3. 開催日時及び会場

【日時】令和6年11月13日(水) 10:00～13:00

【会場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅:地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定員】50名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害児支援関係業務従事者

5. ねらい

わたしたちは、放課後等デイサービスで働く実践者です。実践者ですから、ただキヨリをとっての「観察」ではなく、「見立て」(想像して、具体的に「手立て」(働きかけ)て、時々立ちどまって、ふりかえる(自分の立ち位置も含め綴り、仲間たちや保護者たちや時に本人たちと)通して、より「子ども理解」を深め合っていきます。これは「自分理解」にもつながります。困った子どもではなく、困っている子ども。子どもたちの「そうしなくてはならない」「心の声」も含んだ「物語り」を語ることが大切だという視点です。この講義の課題は、「物語り」。生育歴、しょうがい特性、発達やいまの環境などなどを本人の視点で「自己紹介」を創造することを通して、本人のおもいやねがいを共感的に理解するために必要な基本的な技術について学び合しましょう。

今回は、特に思春期の子どもたち、青年たちに視点をあてて、からだの変化やこころの変化への理解と支援について、学び合えると良いですね。ふれあい、キヨリ、マスターベーション、恋愛感情などなど、支援者のみなさんも困っている事例を手がかりに、学び合しましょう。

6. 日程

9:30

10:00

13:00

受付	<講義・演習>
	① 話題提供 講師 45分
	② グループでの読み合いとコメント 60分
	③ グループの代表のレポート発表とコメント 60分
	④ まとめ 15分

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和6年8月13日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月20日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者に
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。
 また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
 中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- (6) 受講決定者に対し、事前レポートを設けます。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。